

東京都市大学大学院 総合理工学研究科 共同原子力専攻 博士後期課程 「新型炉講究国際プログラム」 の開講

「新型炉国際講究プログラム」は、都市大大学院博士後期課程の「特殊研究」の中で実施する新型炉設計に特化した教育・研究プログラムです。ナトリウム冷却高速炉やガス炉などの第四世代原子炉の他、小型炉、トリウム炉等、多様な新型炉を対象とし、それらの炉心核熱流動、燃料、耐震設計に関する高度な理論と工学を学ぶことができます。

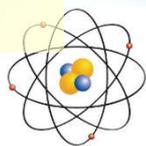
特色：

- ・ 研究機関や企業で実際に新型炉設計・開発に携わった経験を有する教授陣が本プログラムを担当します。
- ・ 使用言語は英語もしくは日本語で、外国人の履修にも対応しています。
- ・ 博士後期課程在籍中には国際会議参加や新型炉開発を行う海外研究機関・組織との研究に関わることも可能です。
- ・ 修了時には共同専攻を運営する早稲田大学と東京都市大学の大学名が併記された博士(工学)の学位記が授与されます。

入学試験	試験種別	一般選抜 社会人選抜※		
		(1)書類審査	(2)面接審査	
	※出願時に十分な実務経験を有している者について、出願書類に関する審査および口述試験を含む面接審査を統合して選考します。			
		B日程	C日程	後学期入学試験
	出願期間	7月中旬	1月中旬	5月下旬
	試験日	9月上旬	2月下旬	7月上旬
	試験場	世田谷キャンパス		
	合格発表	9月中旬	3月上旬	7月中旬
	手続き期限	10月中旬	3月中旬	8月中旬
学納金	入学金	240,000円		
	授業料(年間)	一般選抜 社会人選抜	1,190,000円 119,000円(減免適用後※)	
※博士後期課程の授業料については、社会人選抜を経て入学する全入学生に90%の減免が適用されます。				

教員紹介

教授名	高木 直行	鈴木 徹	佐藤 勇	大島 靖樹
研究分野	原子炉物理、原子炉設計工学、核燃料サイクル工学	原子炉安全工学、原子炉熱流動、炉心損傷解析	原子炉廃止措置、核燃料・材料工学、放射性廃棄物、燃料デブリ	原子力耐震、地震リスク評価、免震・制震、構造信頼性
職歴	1992-2008年 東京電力にて高速増殖炉、次世代軽水炉の開発に従事	1999-2017年 日本原子力研究開発機構にて高速増殖炉、ADSの安全研究に従事	1999-2015年 日本原子力研究開発機構にて高速増殖炉の燃料研究に従事	1990-2017年 電力中央研究所にて軽水炉、高速増殖炉の耐震研究に従事



出願手続きに関するお問い合わせ先
〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1
東京都市大学 世田谷キャンパス 教育支援センター
TEL: 03-5707-0104(内)2157 FAX: 03-5707-2200
お問い合わせフォーム: <https://www.tcu.ac.jp/contact/mail/sckyoumu.html>

内容に関するお問い合わせ先
e-mailにてお問い合わせください。ntakaki@tcu.ac.jp
東京都市大学 共同原子力専攻主任教授 高木 直行

